

声はずむさかいのまち

戦前の堺市の資料を見て、堺を語ろう

日時/2018年11月24日(土) 14:30~16:30 **入場無料**

コーディネーター
浦 和男

関西大学 人間健康学部 准教授

関西大学教育研究高度化促進費「大阪に関する地域資源の掘り起こし・再評価とDCH(Digitalised Cultural Heritage)化によるつながりの創出」は、大阪の地図、絵、写真、ちらし、ポスターなどの「地域資源」をデジタル化して公開し、埋もれた大阪と周辺地域の記憶を掘り起こしながら、人と人とのつながりを創出しようという研究プロジェクトです。

今回、昭和10年に発行された『堺市鳥瞰図』(吉田初三郎作、堺市市役所)を、凸版印刷の協力でスキャンして高精度デジタル化し、地図の細部まで詳細に見ることができるようになりました。

プロジェクトの協力を得て、「声はずおまちさかい」のワークショップでデジタル化地図のお披露目をいたします。約80年前、作者の吉田初三郎が「はるかなる後世のために、昭和の堺の印蹟を物語るなら、筆者末代までの幸福である」との強い思いで描いた地図を、現代技術の力で蘇らせます。

昭和10年堺市役所発行 『堺市鳥瞰図』(吉田初三郎作) の高精度デジタル化 地図を公開します！

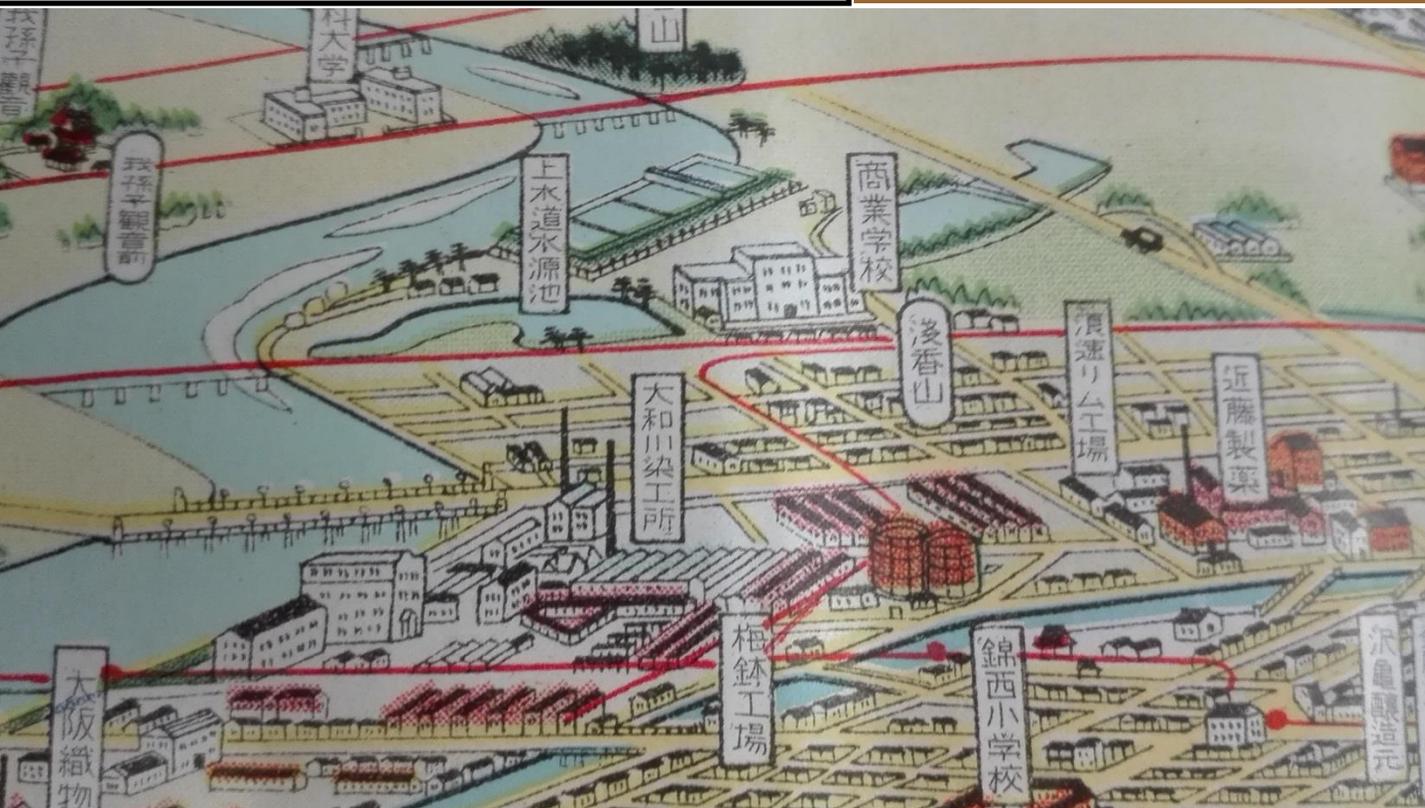
なお、13:30~14:30までは
榊原雄一郎経済学部教授による講義
「経済の国際化からみる堺市産業の可能性」
を行います。

聴講ご希望の方は、下記メールアドレスまで
申し込みをお願い致します。

sakai-info@ml.kandai.jp

協力: 関西大学教育研究高度化促進費
「大阪に関する地域資源の掘り起こし・再評価と
DCH (Digitalised Cultural Heritage) 化によるつ
ながりの創出」プロジェクトによる研究成果です。

プロジェクトに関する問合せ先: 浦和男研究室



『堺市鳥瞰図』(昭和11年)

※『堺市鳥瞰図』中央の「商業学校」が現在の関西大学堺キャンパスです。